

1999年度 第6回情報化委員会議事録

1. 実施日時・場所

2000年2月25日(木) 13時～17時

愛知大学豊橋図書館

2. 出席者

議長 中京大学(小島 英治)

記録 愛知工業大学(津田 朋美)

愛知医科大学(田中 昭夫)、愛知大学(三浦 文博)、金城学院大学(鈴木 卓美)、
椙山女学園大学(河路 峰雄)、豊橋創造大学(川上 雅子)、
名古屋商科大学(下口 ウェイン 正則)、南山大学(笹山 達成)、
日本福祉大学(石川 宗臣)

3. 議題

3.1 常任幹事会報告

3.2 館灯原稿について

3.3 協議会ホームページに関する取り組みについて

3.4 2000年度見学会について

3.5 その他

4. 議事内容

議事に先立ち、第4回、第5回(システム・ネットワーク化情報交換会)の議事録の記録内容について確認が行なわれ、若干の修正の後承認された。

4.1 常任幹事会報告

委員長から以下のような常任幹事会の報告があった。

- ・幹事校から、2000年以降の当番校の確認があり、現在、当番校の順番見直し等を検討している。
- ・国際協力委員会についての報告があった。
- ・相互協力委員会からはメーリングリストに関する提案があったが、常任幹事会としては見送りという扱いになった。

鈴木委員からは、館灯のデジタル化に関わる申し合わせ事項の変更を常任幹事会に提案したが、時間切れのため、差し戻しとなったという報告があった。

4.2 館灯原稿について

機械化アンケートについて、若干の訂正を行った。情報化委員会の活動報告については、幹事校に随時渡しているため、それを掲載する。

4.3 協議会ホームページに関する取り組みについて

鈴木委員から以下のような協議会ホームページ開設準備委員会の報告があった。

- ・学術情報センターにサイトを置く。
- ・2月22日には設置要項を決めた。
- ・東地区部会、西地区部会の下部組織がそれぞれ違うので、ホームページ上にそれら載せるか、どうするか決まっていない。
- ・準備委員会の仕事は終わり、4月からは本委員会が活動し始める。

また、鈴木委員からは、東海地区協議会ホームページも、協議会の中に受け皿となる体制が必要ではないか

という話が出た。

4.4 2000年度見学会について

総会の後に見学会の案内ができるような時期に見学会を設定する。

4.5 その他

・会計報告

笹山委員から、会計報告があった。

今年度 120,000 円 予算 会議費6万円、通信費2万円、事務費2万円。

決算 会議費 97,200 円 (システム・ネットワーク化情報交換会経費の一部を含む)

通信費 7,680 円

事務費 15,120 円

情報化委員会で話し合った結果、情報交換会の収支資料を作ることになった。また、今年度は会議費が予算より大幅にオーバーしたことや通信費が少なく済んだことから、来年度は予算 120,000 円として、会議費 8 万円、通信費2万円、事務費2万円に変更することに決まった。

・館灯の申し合わせ事項について

鈴木委員から、著作権には触れず申請方式でやってはどうかという案に基づいた「館灯」投稿、編集、並びに公開申し合せ事項(案)および「ホームページ公開許諾書(又は同意書)(案)」が配られた。情報化委員会で検討した結果、「許諾」を「同意」にする、「ホームページ公開許諾書(又は同意書)(案)」の誌名欄を削り、「下欄に記載した論文を」の部分で「下欄に掲載した「館灯」論文を」に変更することにした。

・メーリングリストについて

相互協力委員会が常任幹事会で提案したメーリングリストの設置について、情報化委員会で話し合った。その結果、履歴が分かることで過去の Q&A を生かすことができ、また、管理者がコントロールできて、利用者が見に来るプル技術である「掲示板」ではいけないのか？相互協力委員会はメーリングリストにこだわっているのか？協議会のホームページ上に個人主催のメーリングリストのリストを載せ、そこでメーリングリストの紹介をするような形ではだめか？という意見にまとまった。合同委員会で上記を相互協力委員会に聞いてみることとなった。

合同委員会 15:30～17:00

情報化委員会、相互協力委員会の委員長が、各委員会の報告を行った。

・ホームページのリンク集について

相互協力委員会から、ホームページのリンク集を正式に公開して欲しい、データの内容は相互協力委員会、メンテナンスは情報化委員会という体制でリンク集を発展・維持していきたいという提案が出た。情報化委員会は、メンテナンスとしてどのような作業があるか細かく洗い出す必要がある、その仕事 新しい体制としての仕事となるのか、それとも、両委員会のジョイントになるのかを判断し、両委員会とも効率的に作業ができるようにする必要があると答えた。

・館灯の申し合わせ事項

研究会の立場から鈴木委員が「館灯」投稿、編集、並びに公開申し合せ事項(案)およびホームページ公開同意書(案)(情報化委員会で話し合った変更を加えたもの)を配布し、報告した。

「論文以外のものもホームページに載せることを想定しているのか？」という質問があり、それに対しては、例えばアンケートの場合は、アンケートを採る際にホームページに掲載することを明記する必要があると回答した。

この件について、後でまた何か気が付いたことがあったら、そのときは鈴木委員に連絡するよう、依頼があった。

- メーリングリストの設置について

情報化委員会の中で話し合った内容を報告した。相互協力委員会からは、メーリングリストの設置については同委員会の中で練り直し、再考するつもりだという話があり、情報化委員会からの質問に対しては、掲示板ではなくメーリングリストにこだわっている、また、メーリングリストの維持のためや、個人主催のメーリングリストでは参加できない人もいるなどの理由から、東海地区協議会としてメーリングリストを設置し、参加は個人という形にしたいとの回答があった。

話し合いの中で、相互協力委員会と情報化委員会の合同のメーリングリストをやるかという提案が出て、まずはそれを実行することに決まった。

以上